



落羽松

観音寺市立観音寺東小学校
平成23年度学校だより 第6号
2011年10月28日

風に揺れるコスモスの花が、秋の青空に映える好季節となりました。日一日と夕暮れが早くなるのを実感しながら、季節の移ろいの心地よさをありがたく思うこの頃です。

ある日の清掃活動の時間、低学年の子どもたちが、校庭の大きな桜の下で落ち葉を集めていました。要領が分からず作業がはかどらない様子を見て、私は手伝うことにしました。一緒に作業を始めると、子どもたちの顔がいきいきとした表情に変わってきたのが分かりました。私をまねて、道具を使って落ち葉を集めようとしますが、残念ながら道具が大きすぎて思うように操作できません。そこで体に合わせた小さなほうきを用意すると、全員が一生懸命になって上手に落ち葉を集めることができました。しばらくは、毎日一緒に作業をしましたが、今では、細かく指示・指導をしなくても、子どもたちは作業手順に合わせて道具を選びながら、主体的に活動できるようになりました。

大人も子どもと一緒に体を動かし、また終わった後にはきれいになった校庭を一緒に見て達成感を味わう。この繰り返し、今の姿をつくり出したような気がします。子どもたちは、このような活動を通して作業の手順や道具の使い方を学び、友だちと協力し合うことで協働のよさを体感し、また第三者からの感謝やねぎらいの言葉がうれしくて、やる気になるものと信じています。ほんの小さな一コマではありますが、私たち大人（指導者）の指導や助言が、子どもたちの心づくり（やる気・自尊感情を育てることなど）に大きな影響を及ぼすものであると感じた出来事でした。

……… 家庭学習の習慣化を ………

本校では、ご承知のようにすべての学年で専用のノート（東っ子ホームワークノート）をつくり、家庭学習の習慣化に向けた取り組みをしています。参考までに、それぞれの学年の2学期ホームワークのめあてをお知らせします。

- 1年・2年・3年：「土・日は必ずする」
- 4年：「土・日は、2ページ以上必ずする」
- 5年：70ページ達成
- 6年：「毎日する」

自分の課題や学習の目的意識を明確に持たせ、学び方や学習の内容にも積極的に関わり（いっしょに考え）、結果や努力を評価（褒め）するというサイクルを繰り返すことが大切だと思っています。

ミニ人権集会を行いました



10月19日（水）の朝、全校生が参加して障がい者差別や偏見に視点を当てた「ミニ人権集会」を開きました。

集会では、生活指導部の教師たちによる絵本「せなかでとんとん」の読み聞かせの後、感想を発表し合いました。この絵本は、耳が不自由であっても堂々と生きる父親と、そんな父親を尊敬している息子との温かい親子関係を表現した作品です。この集会で学んだことと、23日の毛利公一先生の講演から学んだこととを結びつけ、差別や偏見の不当さに気づいてくれることを願っています。

授業参観・教育講演会への参加、ありがとうございました

10月23日(日)には、授業参観と学級PTA、そして教育講演会を実施しました。多くの保護者の皆様が参観する中、どの学級の子どもたちも授業に集中して参加していた姿が印象的でした。

また授業後は、NPO法人ラーフの毛利公一理事長様をお招きし、教育講演会を開催しました。自らを、「障がい者ではなく挑壁者です」と言い、事故によって失ったことを振り返らず、前を向いて堂々と、目的を持って挑戦している姿には、強く心を打たれました。そして最後に、「生きることのキーワード」として二つ挙げられました。

- 1 ピンチはチャンス ぼくは幸せになりたいから挑戦します。
- 2 夢や目標を語ろう、口に出して語りましょう。

いろいろなことに気づかせてくれた毛利理事長様に感謝申し上げます。



平成23年度香川県「学習状況調査」を実施します

- 1 調査の目的 県内の児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握し、指導方法の工夫・改善に生かします。また、個に応じた指導などを実施する契機とします。
- 2 対象及び教科 ○3・4年生…国語、算数 ○5・6年生…国語、社会、算数、理科
- 3 出題範囲 主として、当該年度前期(4月～9月末)に学習した内容です。ただし、前学年までに学習した内容も含まれます。
- 4 実施日 11月1日(火)～14日(月)の期間中に各学校で実施することになっています。
※ 本校では、11月1日(火)・2日(水)の両日に実施します。
- 5 その他 調査後は、個人票によって保護者に結果をお知らせいたしますと共に、教師自らが指導を振り返る機会として指導方法の改善に生かします。

あたりまえだけど大切にしたいこと

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる

とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる

不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる

「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもはみじめな気持ちになる

子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる

親が他人をうらやんでばかりいると、子どもも人をうらやむようになる

叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思うてしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる

広い心で接すれば、キレる子にはならない

誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ

認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる

見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる

分かちあうことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ

親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る

子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ

やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ

守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ

和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世の中はいいところだと思えるようになる

子は親の鏡 1954/ドロシー・ロー・ノルト

